

目標達成計画

作成日: 平成 29 年 11 月 6 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	重度化や終末期のあり方に関して、指針は作成できているが、介護職員全体への技術や知識に関して不十分な部分がある。	グループホーム老蘇さんにおいて、職員が終末期や重度化した利用者の方に対して適切なケアが行えるような体勢作りをする。	利用者の方の重度化や終末期におけるケアについての正しい知識と技術を習得できるように施設内での勉強会または研修を行う。	12ヶ月
2	35	夜勤帯における災害訓練が不十分であり、万一の災害の時に適切な対応ができない可能性がある。	夜勤帯に起きた災害に対しても、適切な対応が取れ、被害が最小限にできるような対応方法がないか再検討を行う。	通報システムを見直し、自動通報装置で消防に加えて、必要な連絡網に自動連絡できるようなシステムが確立できるか確認を行い、一人になる夜勤帯においても、夜勤者が的確な対応をとれるような訓練とシステム作りを行う。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。